

目指す教職員像

- 生徒と向き合い、指導力を高める教職員
(個別最適な学び、資質・能力の向上)
- 教職への誇りと責任をもった教職員
(服務規律の確保・不祥事防止)
- ワークライフバランスの優れた教職員
(自他の尊重・心身の健康と働き方改革)

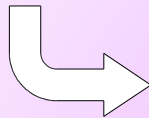


学校教育目標 ともに学び、未来を拓く たくましい生徒の育成

校歌のキーワード「友と学ぶ・自主・根強く・未来・力のかぎり」

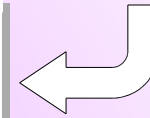
目指す生徒像

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
(知と未知・自分の学び方を見つける)
- 人と自分を大切にできる生徒(徳)
(メンタルヘルス・折り合いをつける)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)
(挑戦・緊張と失敗を糧にする)



目指す学校像

- ◎授業・行事・部活動を柱に学ぶ喜びのある学校
- ◎場にふさわしい規律のある学校
- ◎学習環境が整い、清潔で安全な学校
- ◎家庭・地域と連携協力し、生徒を育てる学校



学校経営方針(本校教職員がなすべきこと)

「チーム藤中」の一員として、全教職員が「よさ」を発揮し、活力のある学校・学年・学級・部活動づくりを推進する

- ◎より効果的な指導を試み、授業を核に確かな学力を育成する。
- ◎「学び合い活動」とICT等教育機器の効果的な活用を図る。
- ◎行事等の企画・運営を通して、人を育てる資質・能力を高める。
- ◎部活動を通して、心豊かな生涯学習の基礎を培う。
- ◎生徒・保護者・地域から信頼される親身な生徒指導・教育相談を行う。
- ◎事故防止に努め、安全で安心な学校環境を整える。
- ◎教育公務員として、生徒・保護者・地域から信頼される言動をとる。
- ◎互いを尊重し合い、働きやすい風通しのよい環境を自らつくる。

令和7年度の重点

- ①「一人残らず学ぶ教室」の実現を推進する → 学力向上を基軸に「学び合い活動」と「ICT機器の活用」を実践する
○生徒の活動量を確保し、教科等の見方・考え方を働かせた「学び合い」を共有し実践する。 ○ICT機器等を活用し、分かりやすく深まりのある指導を行う。
- ②生徒一人一人の居場所を大切にできる教育相談活動 → メンタルヘルスリテラシーを身に付け、自他を尊重できる豊かな心を育む。
○学級活動・個人面談を通して、自己理解を支援し、自立の基礎を育む。 ○人付き合いアンケート等を活用し、個に応じた適切な支援を行う(校内教育支援センター開設)。
- ③「いじめ0・いじり0」の道徳教育 → 自分事と考えられる人権感覚を醸成する。
○道徳を核として自他を尊重し、認め合う。 ○特別支援教育の視点を踏まえ、個別の適応指導プログラムを推進する。 ○いじめの根絶を目指し、組織的に毅然と対応する。
- ④一人一人の夢を理解し、応援するキャリア教育 → コミュニケーション能力と社会性を育むキャリア教育を実践する。
○義務教育修了の意義を踏まえ、志を立てる進路指導に取り組む。 ○体験活動の充実を図り、夢を育む教育を実践する。 ○家庭と協力し、「健やかな体づくり」を実践する。
- ⑤学校・学年行事、部活動の充実を図り、生徒と教師が共に燃える特別活動 → 人と自分を大切にし、藤中ならではの特別活動を実践する。
○所属感を培う学年・学校行事を企画・運営する。 ○校則等の意義を考え、自治意識を高める生徒主体の活動に取り組む。 ○心身ともに逞しい生徒を育成する。
- ⑥保護者・地域と連携し子どもを温かく見守るPTA活動 → 子ども中心の「絆」づくりを推進し、大人が手本を示す教育の充実を実践する。
○魅力ある藤中に資する学校運営協議会の充実を図る。 ○活動のねらいを明確にして、発信し共通理解を図る。 ○教職員のPTA・地域活動への積極的な参加を図る。
- ⑦きれいで潤いがあり、安全・安心、規律ある環境教育 → 場への感謝の心と、自ら健康安全に努め、心豊かな教育活動を実践する。
○感謝の心を育む清掃活動を行う。 ○学力向上につながる掲示を充実する。 ○大災害に備え、地域と連携し、実践的な交通安全・防災教育に取り組む。